

現場レポート

下関市内の小学5年生を対象に海事産業見学会を開催  
～「海事産業の仕事」を知ってもらうために～

- ・長州出島（国際物流ターミナル）では、コンテナ船の荷役作業を見学してから、空コンテナの中に入ってみました。
- ・下関港国際ターミナル2Fから、旅客フェリー「はまゆう」に乗船して操舵室、客室、展望通路等を見学しました。
- ・造船所では、船の学習や工場内（建造中の船舶等）、史料館を見学しました



ガントリークレーンを使ったコンテナ船の荷役作業を見学しました。



空コンテナの中に入って、その広さを体験しました。この後、コンテナの扉が閉まり、中は真っ暗となり児童はビックリ。（担当者から、扉を閉めて真っ暗になれば、隙間や穴が空いているので、コンテナとしては使えないとの説明がありました。）



旅客フェリー「はまゆう」の操舵室でレーダー等の航海機器や海図の説明がありました。（左写真）甲板上では、救命筏の役割を聞きました。（右写真）



造船所内の会議室で、船の学習会（船の種類等）を行いました。（右写真）史料館では、造船に使用していた機械や建造した船の模型を見学しました。（下写真）

